

# 教育委員会だより 「自主」と「共生」～自己肯定感～

令和3年8月23日号 多治見市教育委員会 教育総務課

## お互いに学び合う連合生徒会

8月5日(木)に、とうしん学びの丘エールを会場にして、連合生徒会を開催しました。今年度の連合生徒会のテーマは、令和版「多治見市中学校宣言」の見直しです。同宣言は、平成20年度の連合生徒会が作成しました。参加した各中学校の生徒達は、10年以上前の先輩達が考えた「宣言」を見直すという役割に、やりがいを感じている様子でした。

この日は、まず各学校の取り組みを交流しました。どの学校も、コロナ禍だからこそ大切にしたいと考えたり、挑戦したりしたことを発表しました。

その後、令和版「多治見市中学校宣言」にどんなことを盛り込みたいかグループに分かれて話し合いました。『情報モラル』や『いじめ』などについての意見が多く出されました。今後、各中学校でも話題にしなが、1月の連合生徒会で決定する予定です。中学生の熱い気持ちのこもった宣言になることを期待しています。



## 外国籍児童生徒の学習支援会



多治見市教育委員会では、外国籍等児童生徒の支援の一環として平成28年度より、夏休みの学習支援会を実施しています。今年度は46名の児童生徒が参加し、夏休みの宿題や、日本語指導、日本の文化についてのゲームなども交えて楽しく取り組みました。相談員1名、支援員6名が5つの会場に分かれて、計13日実施しました。児童生徒はもちろんのこと、保護者同士の交流も生まれ、とても微笑ましい場面が多く見られました。

## 親子で楽しく学ぶ食育講座



7月22日(木)に、姫町の食育センターにおいて『親子食育講座』が行われました。名古屋グランパスエイトの栄養アドバイザーである森 裕子氏を講師として招いて『野菜摂取と減塩について』をテーマに、親子食育講座を実施しました。クイズ形式で楽しく親子で、野菜の大切さを学ぶ姿がたくさん見られました。

この日は、後半食育センターの施設見学もしました。大きな鍋を目にして驚く姿が印象的でした。

## 得意セミナー・教師塾セミナー

夏休みの期間中に、「得意セミナー」と「教師塾セミナー」が開催されました。得意セミナーとして、『まが玉づくり』『書道コンクールに挑戦しよう』『読書感想文』『科学作品』『ポスターをかこう』の5つの講座を希望する児童生徒を対象に行われました。市内小中学校の先生方と教育研究所の職員が講師として活躍しました。夏休みの期間中であっても、自校だけでなく他校の児童生徒にも、楽しく熱心に指導する先生方の姿がとてもさわやかでした。また、講座に参加した子ども達が熱心に取り組む姿もとても素晴らしく思いました。



また、教師塾セミナーとして、7月27日に「不登校の背景と対応」という講座を実施しました。岐阜県スクールカウンセラーのスーパーバイザーの川原さんを講師として招いて、教職員を対象に実施しました。

講座の中で、不登校児童・生徒の中には、認知のずれにより、学校生活や仲間関係に悩む子が存在することを学びました。例えば、友達と一緒に遊ぼうと誘ったが断られたという場面で、「そういうこともあるよな」ではなく、「自分は嫌われた」と捉えてしまう傾向があるというものでした。参加者は、認知のずれを、修正する働きかけの大切さを学びました。